

2015年5月4日（月）・5日（火）

尾瀬・残雪の至仏山登山ツアー

初日：片品村「水芭蕉の森」

ゴールデンウイークの山行は毎年、残雪ハイクが恒例になっており今年も、初めての尾瀬・至仏山を、4日（月）5日（火）で企画した。当初16名が参加予定であったが鶴飼さんは風邪、川島さんは手首を骨折して、二人共ドクターストップになり残念ながら断念した。下記の14名の参加となった。

小野寺さん、岡部さん、布目さん、小山さん、中島さんの女性5名に、高橋文さん、高橋雄さん、堀さん、吉松さん、石井さん、能勢さん、根岸さん、伊能さん、熊本の男性9名である。



高崎駅から9:26発の上越水上行に乗る。13名しか乗っておらず、小野寺さんは一本前の電車で先に行っているとのことで下車駅「沼田」で合流した。



沼田駅から14名全員が揃い、尾瀬戸倉行の10:18発のバスに乗る



約1時間で鎌田バス停に到着(11:17)。片品村「花の谷公園」に行く(徒歩5分)



「花の谷公園」は片品村役場の敷地内にあった。



公園入口には「花の谷湧水」があり、背後の山の中腹からパイプで約1.5Km引いているそうだ。

「花の谷湧水」は「平成の名水百選」に選ばれているとのこと。



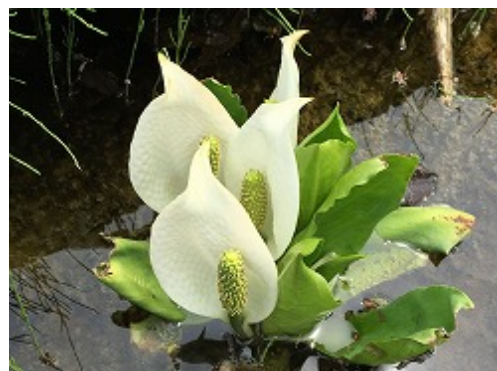
水芭蕉を求めて池に向かう。



幸いにも水芭蕉は咲いていた。



念願の水芭蕉とご対面



水芭蕉を鑑賞して昼食タイム。
池の畔に三々五々散らばり、各自持参したお弁当を広げる。





以下は花の谷公園で咲いていた花



花の谷公園は予想していたよりも小さく、水芭蕉以外に見る物がない。

13時にタクシーを予約していたが、急遽30分早めてもらい、こんどは越本の「水芭蕉の森」に移動することにした。

迎えにきたのは小型の観光バス（30数人乗り）で、我々は半分以下の14名で、荷物を置いても余裕の楽々移動となった。

10分程で「水芭蕉の森」駐車場に到着（12:35）

小雨がパラパラ降りてきたが、観光バスに用意された傘を借りて、森に入る。



5分程森を登ると、残雪が所々にあり、清流の周囲に咲き始めの水芭蕉が現れた。



更に森の奥へと進む。



水芭蕉の群生を見て・・・

何故か、エンレイソウも咲いていた

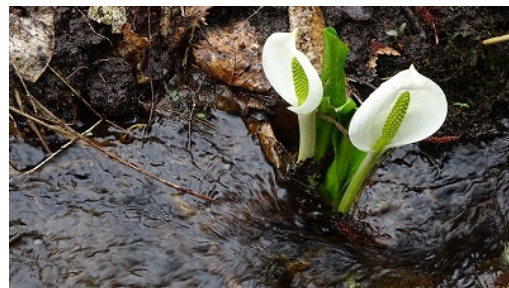
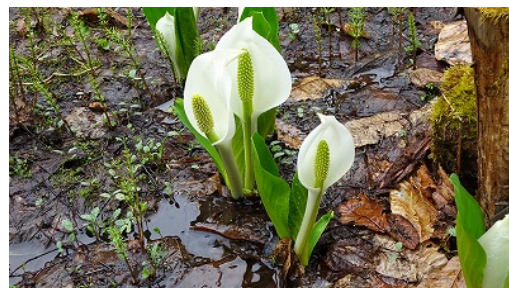
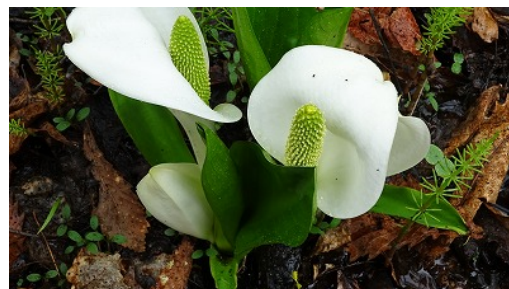


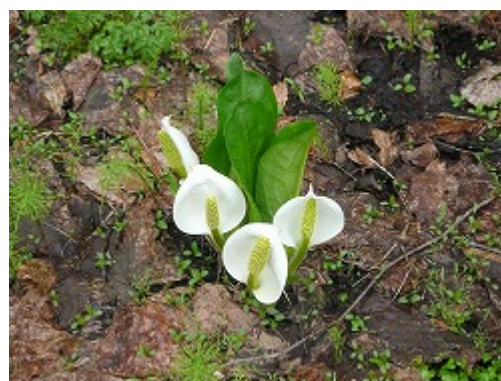
10分程で群生地への入口があり、
自然環境保護のため100円を寄付して、更に奥へと進む



木道が設置された湿原が現れ一面に水芭蕉が咲いていた。

咲き始めの水芭蕉は可憐で瑞々しい。





一時間程、咲き始めの水芭蕉を堪能し、湿原を後に駐車場に戻る。



駐車場付近は桜が満開で、東京より1か月は遅いようだ。



コゴミ、フキノトウなどの揚げ立てのテン普拉を岡部さんが調達し、皆さんでご馳走になる。



13:40 観光バスに乗り込み、本日の宿 尾瀬戸倉の「喜楽」に向かう。



尾瀬戸倉の温泉民宿「喜楽」に 14:10 に到着。

15時から温泉に入り始める。

16時頃から幹事部屋に集合し、夕食の 18時まで 2時間あり宴会を始める。

当旅館はご夫婦二人で賄っているため、お酒類は置いてなく、直ぐ近くの酒屋で購入し持ち込む。我々も安上がりで良い。





当地で調達したビール、持ち寄ったワイン、焼酎、日本酒が大量にあったが、夕食前に殆どなくなった。温泉もツルツルなアルカリ泉で良かった。



18時から食堂で夕食
今夜の料理を説明する当旅館の主と奥様。



山菜、川魚料理は実に旨かった。



乾杯！
美味しく、満腹になりました。



明日の至仏山山頂で乾杯用に、調達した
「水芭蕉」(純米大吟醸)と尾瀬ワイン。



腹いっぱい食べ、浴びるほど飲んで、
明日の至仏山の好天を願い早めの就寝。